

◎報告

看護部活動報告
—平成2年度—

三朝分院看護部

1. 教育活動

【院内教育】

(学習会)

看護記録の充実と記録の質の向上をめざして、昨年に引きつづきPOSにによる看護記録の学習会を月1, 2回行い、退院時要約の症例検討及び様式の改善を行った、看護記録(基礎データ・問題リスト・初期計画・経過記録・中間サマリー・退院時要約)の監査基準を作成し、自己監査実施中であり2月に検討会を行う。

(伝達講習会)

4.18~20 「乳房マッサージSM方式」

永江 智穂

8.22 鳥取県看護協会第4回研修会

「院内教育計画—立案から評価まで—」

中村寿美江

(個人研究)

11月, 12月 院内発表会

①妊婦水泳 アンケート調査による考察

3年を経過した妊婦水泳の有効性を初産婦産褥4~7日目の10名に妊娠経過及び分娩時についてのアンケート調査を行い考察した。

坂田句子, 永江智穂, 河原充子

②糖尿病の食事療法四群点数法による試み

中高齢者の糖尿病食事療法を解りやすくするために通院患者2症例について検討した。

山上桂子, 尾崎信子, 増井悦子

③手拭きタオルの汚染度

入院中自分で動けない患者の使用した蒸しタオル8時間使用したものと5時間使用しなものの細菌培養により汚染度を調査した。

中村寿美江

④はじめて大発作を起こして入院した喘息患者の

の看護

大発作で緊急入院となり喘息に対する病歴も浅く、病識を欠く患者の看護について症例検討をした。

藤井洋子, 中村あけみ, 寺崎佳代, 高田信江

⑤喘息で入退院を繰り返している患者へのアプローチ

病気に対し不安を持ち、うつむの態度で入院生活を送り、ベッド上で終始臥床している患者に日課表を通して入院生活、治療に積極的に取り組む姿勢を持たせた症例について考察した。

吉尾慶子, 石湯和子, 江間美津子, 能見真由美

⑥どんな看護婦が患者さんに好感をもたれるか

人間関係が重視される看護場面においてエゴグラムを使用して看護婦自身と、患者がどのように看護婦を受け止めているかを病棟看護婦、入院患者を対象にアンケート調査を行い患者への接し方を考察した。

藤井純子, 福井由美, 坂本香須美

⑦中材看護要員の実状

中材の看護要員は中材, 手術室, 外来, 病棟, 内視鏡室, 超音波検査室, 赤外線検査室, レントゲン室等の兼務であり, 3名が, 分刻み, 時間刻み, 曜日刻みで流動的勤務の毎日であるが, 所在は病棟要員である。その出向時間調査を行い, 中材業務の合理化を検討した。

賀須井捷子, 山本貞枝

⑧看護部の体力づくりをめざして

看護婦の健康をテーマに体力維持, 気分転換, ストレス解消効果を期待して, 朝のラジオ体操(8:10~), エアロビクス(水曜17:30~18:30)等, 平成2年3月より自由参加で継続しており参加者, 不参加者のアンケート, インタビュー調査により, 始業前後の心身リラックス, 職場のより

よいコミュニケーションの場としてよい結果が得られた。

石田美枝子, 黒田昭子, 西村伸子,
細田つる子, 池田昭子

【講演会】

5月「病室・家庭で行う効果的な筋力増強自主
訓練の指導法」

講師 上本理学療法士

8月「癌の化学療法」

講師 曾田助教授

9月「EKGの基礎・異常波の病態Ⅰ」

講師 松本先生

10月「EKGの基礎・異常波の病態Ⅱ」

講師 松本先生

2月「医学からみた女性の快適な過ごし方」

講師 奥田助教授

【院外研修】

県看護協会研修会

第1回「新人研修」専門職業人としての継続

学習の必要性をあきらかにし、自己成長への手がかりとする。

講師 日本看護協会常任理事 松林恵子先生
(5.23) 伊賀真由美, 中村あけみ

第2回「看護研究のすすめ方, まとめ方」

研究の基本的な考え方からまとめまでの過程を学ぶ。

講師 日本赤十字看護大学教授 福岡文昭先生
(6.2~3) 福井由美

第3回「親と子の心の健康—看護—それは子育てにつながる」

職業人として子どもを生み育て、働き続けることができる手がかりとする。

講師 大阪教育大学教授 秋葉英則先生
(7.5) 山本貞枝

第4回「院内教育計画」

院内教育計画の立案から評価のしかたまでを学ぶ。

講師 立教大学教授 岡本包治先生
(8.8~9) 中村寿美江

第5回「医療法の改正と看護とのかかわり」

医療法の改正と診療報酬改定にともない、今後

の看護体制について考えることができる。

講師 日本看護協会常任理事 杉谷藤子先生
(9.28) 黒田昭子

「スタッフが意欲的に看護に取組めるための指導のあり方」

1)スタッフ育成のための方向性がみいだせる。
2)婦長としての自分の役割が再認識でき自信をもってリーダーシップが発揮できる。

講師 北里大学病院看護部長補佐 古庄富美子先生
(9.29) 黒田昭子, 吉田順子

第6回「言葉の使い方」

よりよいコミュニケーションを得るための話し方を学ぶ。

講師 NHK京都チーフアナウンサー 有本忠雄先生

「看護とカウンセリング」

患者の心を開くコミュニケーションのあり方。

講師 上智大学教授 小林 司先生
(10.15~16) 田熊正栄, 吉尾慶子

第7回「看護過程」

看護過程理論を学び、看護実践能力を高める。

講師 筑波大学医療短期大学部教授 高木永子先生
(11.17~18) 伊賀真由美

第8回「情報収集と生かし方」

看護過程に於ける情報収集の意義を学び看護計画の立案に生かす。

講師 元岡山労災看護専門学校専任教員 大月悦子先生
(12.6~7) 池田昭子

【その他研修会】

「米子頻尿・尿失禁シンポジウム」

—小児夜尿症・老人尿失禁— (鳥大)
(5.19) 西村伸子

第7回山陰終末医療を考える会 (松江)

(6.23) 石湯和子

鳥取県病院協会看護部会 (米子)

「隔離された閉鎖集団の特徴」

講師 国立米子病院長 吉川暢一先生
(6.28) 吉田順子

鳥取県助産婦職能集会
「なぜ受持制母子看護なのか」
講師 東京厚生年金病院産科看護婦長
西村晶子先生

シンポジウム
「妊産婦の継続看護をめざして」
一心理面に焦点をあてた継続用紙を使用して—
(7.8) 坂田句子

日本アレルギー協会中国支部(勝山)
「喘息児童夏季教室」
(7.25~30) 伊賀真由美
第27回「山陰滅菌消毒法研究会」(米子)

滅菌包装および滅菌容器をめぐる最近の諸問題
講師 東京大学手術部婦長 新井晴代先生
(10.20) 賀須井捷子
中四国地区看護研究学会(岡山市)

(11.12~13) 田熊正栄, 増井悦子
鳥取県看護協会中部地区支部研修会
「私達のくらしと廃棄物」
講師 倉吉保健所衛生課長 石田一成先生
(12.13) 福井由美

県看護協会看護婦職能研修会(鳥取)
「変化する看護ニーズの動向」
講師 東京医科歯科大学附属病院看護部長
高橋美智先生

(12.15) 黒田昭子, 山上桂子, 中村寿美江
吉田順子
鳥取県病院協会看護部会(倉吉)

「喘息の病態と温泉療法」
講師 岡大三朝分院長 谷崎勝朗教授
(1.10) 黒田昭子, 吉田順子
第21回日本看護学会

成人看護Ⅰ(佐賀市)
急性期における変化に対応する看護
(7.12~13) 石湯和子
成人看護Ⅱ(滋賀県米原町)

慢性の経過をとる患者の看護
(9.6~7) 高田信江, 細田つる子
看護管理(愛媛県松山市)

個を活かす看護管理, 業務管理, 人事管理, 看護サービス, 看護職員の資質向上と能力開発に関

するもの等
(11.7~8) 黒田昭子, 吉田順子
上記参加者はレポート提出, 1件につき報告会
を行った。

2. 業 務
グループ活動

・カードックス改善検討
看護援助に必要な患者情報を短時間に的確な,
有効活用をめざして改善試行中である。

・看護手順
処置篇検討作成中

・業務改善
外来患者の待ち時間についてアンケート調査実
施し問題点について検討中。

・看護記録1号紙改善検討
・看護助手業務の見直し

3. そ の 他
(患者教室)

・喘息教室
毎月第2, 4水曜日17:00~17:30
4月~3月延べ参加患者数 236名
(係り 寺崎佳代, 福井由美)

- 4.10 喘息について(フリートーキング) 12名
- 4.24 気管支喘息の治療Ⅰ 12名
- 5. 9 気管支喘息の治療薬 12名
- 5.23 気管支喘息の治療, 吸入について 13名
- 6.13 プール訓練について 12名
- 6.27 気管支喘息と感冒, 冷房について 10名
- 7.11 効果的な呼吸法・排痰法 8名
- 7.25 喘息発作の予防 7名
- 8. 8 喘息患者の日常生活について 6名
- 8.22 喘息日誌の記入について 6名
- 9.12 喘息と生活環境(ビデオ) 7名
- 9.26 喘息体操(ビデオ) 9名
- 10.24 アスピリン内服により喘息大発作を起
した体験談 8名
- 11.21 喘息と吸入法(ビデオ)と体験談 8名
- 12.12 気管支喘息とは 13名
- 12.26 クリスマス会 13名
- 1. 9 喘息の治療Ⅰ 根本療法 14名
- 1.23 喘息の治療Ⅱ 対症療法 19名

| | | | |
|------------------------|--------------------|-----|---|
| 2.13 | 喘息の治療Ⅲ 対症療法 | 16名 | ・糖尿病教室 第4水曜日14:00~15:00 |
| 2.27 | 呼吸器の仕組み | 16名 | 4月~1月延べ参加患者数 96名 |
| 3.13 | 日常生活について | 15名 | (係り 田熊正栄, 増井悦子) |
| ・RA教室 隔週月曜日17:00~17:30 | | | |
| 4月~3月延べ参加患者数 301名 | | | |
| (係り 石田美枝子, 細田つる子) | | | |
| 4.9 | 入院生活について | 13名 | 4.25 糖尿病とは, 糖尿病はなぜ怖いか 12名 |
| 4.23 | RAの温泉療養について | 11名 | 5.23 糖尿病と食事療法Ⅰ 9名 |
| 5.14 | 運動と筋肉 | 12名 | 6.27 糖尿病と食事療法Ⅱ 8名 |
| 5.28 | 栄養の話し, 夕食会 | 11名 | 7.25 糖尿病食試食会 17:00~19:00 10名 |
| 6.11 | 副皮質ホルモン剤について | 11名 | 8.22 糖尿病と合併症について 13名 |
| 6.25 | RA体操について | 10名 | 9.26 糖尿病のより良いコントロール糖尿病の 検査について 6名 |
| 7.9 | RAと冷房について | 9名 | 10.24 運動療法の基礎とその実際 5名 |
| 7.23 | RAと消化器症状について | 9名 | 11.28 糖尿病食試食会 11:00~13:00 12名 |
| 8.20 | 上肢, 下肢の機能について | 9名 | 12.26 日常生活について 8名 |
| 9.3 | 五十肩体操(ビデオ) | 13名 | 1.23 薬物療法, 内服薬について 13名 |
| 9.17 | QOL, よりよい生活のために | 9名 | 2.27 薬物療法, インシュリンについて |
| 10.8 | くすりと健康(ビデオ) | 13名 | 3.27 質問及び反省会 |
| 10.23 | 履物, 靴の工夫 | 13名 | 各患者教室は, 医師・薬剤師・栄養士・理学療 法士・看護婦それぞれ担当し患者と共に学習し, 交流した。 |
| 11.26 | 腰痛の基礎知識 | 17名 | 看護部にたいして, 多くの方々によるご指導, ご協力を戴き感謝いたします。 |
| 12.10 | RAとくすり | 8名 | |
| 12.17 | クリスマス会 | 9名 | |
| 1.21 | RAの治療 | 9名 | |
| 2.25 | 6つの基礎食品について | 10名 | |
| 3.11 | 副腎皮質ステロイドホルモン剤について | 10名 | |
| 3.25 | 反省会 | 11名 | |